

解 答

一 問一 A ウ B オ C ア D エ

問二 ことによると、私の落とした財布をだれかが交番に届けてくれているかもしれない。

問三 戦地に向けて出発しなければならない時刻が、いよいよあと数時間後にせまっているような時。

問四 ア

問五 ウ

問六 c

問七 好きな絵も満足に描けないまま戦争に行き死んでいった画学生さんたちは、さぞ苦しく悲しかったであろう。

問八 それは、戦

問九 「私たち」はモノがあふれていて幸せでゆたかな時代に暮らしているので、戦没画学生さんたちの味わった苦しみや悲しみを心の底から理解することはできないということ。

問十 「絵を描くよろこび」にあふれて生き生きと輝いてみえ、一生懸命生命をかけてうちこめる目的を持つことが人生にとって大切であり、それが幸せであることを物語る作品。

二 問一 オ

問二 ウ

問三 耳

問四 しまりのない小太りな体に細長い手足といった、いかにも貧弱な外見。

問五 「ぼく」に満足な投球ができるわけはないと敵にばかにされていることに傷つき、すっかり自信をなくしてしまうだろうから。

問六 うかれてるあいつらの意表をついて、目を覚まさせてやろうか

問七 ウ

問八 それまでは自分に自信がなく人まかせであったが、大勢の前でピンチを乗り越え、試合に勝ったことで、自分の中の勇気呼び起こし、自信が持てるようになった。

三 ① 勤 ② 業績 ③ 幼 ④ 署名 ⑤ 系図 ⑥ 負担
⑦ 旅費 ⑧ 縮 ⑨ 故障 ⑩ 屋外 ⑪ 敵 ⑫ 捨